

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)サーバス富安一丁目

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.0
Q1 室内環境			0.40		-	3.1
1 音環境		2.0	0.15	2.9	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		1.0	0.50	2.8	0.50	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	軽量床衝撃音低減二重床の採用	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	重量床衝撃音低減二重床の採用	3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		1.3	0.35	2.5	1.00	2.3
2.1 室温制御		1.7	0.50	3.3	0.50	
1 室温		1.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能	設計住宅性能評価省エネルギー対策等級4等級	3.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		1.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.7	0.25	3.6	1.00	3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率	南面に大きな開口	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	庇としてのバルコニー及びカーテン等の設置	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	全ての建材にF☆☆☆☆を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		1.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.9	0.40	3.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		1.0	-	1.0	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		2.0	-	-	-	
3 内装計画	各種カーサスキムの設定	5.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した計画が標準以上行われている	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	維持管理用機能確保のためのスペース確保や動線の確保	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	設計住宅性能評価劣化対策等級3等級	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼採用	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロス貼:20年	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な上位3種類の2種類以上にBを使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり						
1	階高のゆとり	最低階高2.965	3.0	-	3.2	0.50
2	空間の形状・自由さ		1.0	-	4.0	0.60
3.2 荷重のゆとり						
3.3 設備の更新性						
1	空調配管の更新性		3.0	1.00	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.20	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.10	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)						
1	生物環境の保全と創出	地域特性や周辺環境を考慮した植栽計画及び維持管理保全計画	-	0.30	-	3.1
2	まちなみ・景観への配慮		4.0	0.30	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.40	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.5	0.30	-	2.5
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						
LR1 エネルギー						
1	建物外皮の熱負荷抑制	設計住宅性能評価省エネルギー対策等級4等級	2.0	0.50	-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	3.6
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.92	3.0	0.10	-	3.0
4	効率的運用		3.8	0.50	-	3.8
集合住宅以外の評価			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル						
1	水資源保護		-	0.30	-	2.9
1.1	節水	節水型便器の採用	3.4	0.20	-	3.4
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		4.0	0.40	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.60	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		3.0	0.30	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.9	0.60	-	2.9
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.10	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		1.0	0.20	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能	2.0	0.10	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		5.0	0.20	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		2.6	0.20	-	2.6
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.30	-	-
1	消火剤		2.5	0.70	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-
3	冷媒		2.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境						
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率68%以下	3.0	0.50	-	-
2	地域環境への配慮		-	0.30	-	3.3
2.1	大気汚染防止		4.2	0.33	-	4.2
2.2	温熱環境悪化の改善		2.5	0.33	-	2.5
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		2.0	0.50	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.2	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	駐車場の適切な量の確保	3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮						
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.1	0.33	-	3.1
1	騒音		3.0	0.40	-	-
2	振動		3.0	1.00	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		-	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.40	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	0.70	-	-
3	日照阻害の抑制		1.0	-	-	-
3.3	光害の抑制		3.0	0.30	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価ポイントの合計値が3ポイント	3.7	0.20	-	-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		4.0	0.70	-	-
			3.0	0.30	-	-